



にぎわい東北
— つなげよう、ふるさとのチカラ

AEON

2016年12月19日

報道関係者各位

イオン株式会社
イオン九州株式会社
イオン心をつなぐプロジェクト
NPO法人遠野まごころネット

ボランティア・サンタが皆さまの温かい気持ちを釜石の子どもたちに届けます 12/25(日)イオンタウン釜石で「サンタの出発式」を開催!



イオンは12月25日(日)、イオンタウン釜石において、NPO法人 遠野まごころネットが開催する「サンタが100人やってきた! 2016」の出発式に参加させていただくとともに、寄付金の贈呈を行いますので、ご案内申し上げます。

このプロジェクトを主催するNPO法人「遠野まごころネット」は、2011年以降、「サンタが100人やってきた!」に取り組んでおり、今回で6回目の開催となります。

イオンはこの取り組みに賛同し、2012年より労働組合と協働で参加させていただいています。本年はイオン九州(株)をはじめ、全国各地のイオングループ各社から従業員約10人がボランティア・サンタとして参加するとともに、寄付金約100万円を贈呈し、子どもたちへのプレゼント等に役立てていただきます。

イオンは、復興への願いをカタチにするべく、これからも被災地の復興、そして「夢のある未来」の実現に向け、さまざまな取り組みを行ってまいります。

【イオンタウン釜石「出発式」について】

1. 日 時: 12月25日(日) 9:30~ (報道受付 9:00~)
2. 場 所: イオンタウン釜石 1階 大町広場側入口(岩手県釜石市港町2-1-1)
3. 内 容: 代表者挨拶、寄付金贈呈、フォトセッション
4. 参加人数: ボランティア・サンタ100人(予定)
(イオン九州(株)の従業員、イオングループの従業員 他)
5. 主な出席者: 釜石市 市長 野田 武則 様
(予定) NPO法人 遠野まごころネット 理事長 臼澤 良一 様
イオン九州(株) 取締役 人事総務本部長 山本 博之 様
イオンタウン(株)イオンタウン釜石モールマネージャー 森 信義 様

ご参考までに

【特定非営利活動法人「遠野まごころネット」について】

東日本大震災で被災した岩手県沿岸部の被災者の方々を支援するべく、遠野市民を中心として結成された被災地支援団体です。

自然災害時の被災者及びこの支援活動に携わる関係者、事業者に対して、復興支援に関する事業を行い、被災者の生活再建ならびに被災地の経済復興、さらには、今後起き得る自然災害時に迅速に対応できるネットワーク構築、マニュアル策定に寄与することを目的としています。さらには、遠野市の自然資源を生かした、メンタル・ケア・プログラムを構築し、被災者への貢献、さらには遠野市の観光資源への活用、観光産業の育成にも寄与することを目的としています。

【このプロジェクトのきっかけと目的】

きっかけは関東のボランティアの方が、震災直後に陸前高田市の避難所に派遣された看護師さんのブログを目にされたことでした。

避難所で看護師さんと仲良くなった小さな女の子が、お願いしてきたそうです。

「また冬になったらサンタさん来てくれるかな？おうちなくなっちゃったけどサンタさん、プレゼント持って帰ってしまわないようにお姉ちゃんから言っておいて」と。

思わず口にした「なにが欲しい？」との問いかけに、女の子の返事は「おうちとママ」。

母親は、女の子が大事にしていたお人形や絵本の入ったリュックを抱えて亡くなっていたのだそうです。

3月11日の震災は、試練というにはあまりにもむごすぎる体験を子供たちに与えました。震災から5年と9か月以上が経過していますが、心の傷はまだ消えていません。

子供たちが、そして大人たちも、少しでも笑顔になれるようなクリスマスを、今年もプレゼントしたいと思います。

また、配布用のプレゼントを現地購入することで地域経済を支援すること、地域振興をおこなうこともまた主旨の一つです。



【「イオン 心をつなぐプロジェクト」について】

イオンは、基本理念である「人間」「平和」「地域」に基づき、経営活動で培った資源を活かして東日本大震災からの復興に取り組むことが、社会的責任であると強く認識しています。

こうした認識のもと、2012年3月8日「3.11復興への願いをカタチに」をリリースし、被災地の復興と「夢のある未来の実現」に向けて、全力で取り組むことを表明し、「イオン 心をつなぐプロジェクト」を発足させました。当プロジェクトは、会社と労働組合の協働で、イオンらしい取り組みをイオンピープルが主体的に展開し、植樹活動、ボランティア派遣など、地域の復興に貢献するさまざまな活動を行っています。